



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場取引所 大

上場会社名 朝日工業株式会社

コード番号 5456 URL <http://www.asahi-kg.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤松 清茂

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 中村 紀之

TEL 03-3987-2161

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	10,767	0.4	△118	—	△91	—	△79	—
23年3月期第1四半期	10,725	3.2	△315	—	△303	—	△360	—

(注)包括利益 24年3月期第1四半期 △92百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △474百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△1,138.32	—
23年3月期第1四半期	△5,151.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	40,339	18,407	45.6	262,964.89
23年3月期	40,733	18,780	46.1	268,285.76

(参考)自己資本 24年3月期第1四半期 18,407百万円 23年3月期 18,780百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3,000.00	—	4,000.00	7,000.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	3,000.00	—	4,000.00	7,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,500	8.2	150	—	100	—	30	—	428.57
通期	46,000	13.5	1,600	—	1,500	—	800	—	11,428.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	72,000 株	23年3月期	72,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	2,000 株	23年3月期	2,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	70,000 株	23年3月期1Q	70,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績等が異なる可能性があります。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、本年3月11日の東日本大震災によって発生した電力供給問題やサプライチェーンの滞りから、企業の生産活動が低下したことや個人消費の低迷などにより、景気は依然として不透明な状況にありました。

このような経済状況のもとで、当社グループの各事業は、本年2月4日に開示した中期経営計画の達成に向け取り組みを開始いたし、また開示後発生した東日本大震災の影響を回避するための諸施策の実施や事業展開への連動を行ってきました。

しかしながら、土木建設需要の回復が遅れ気味であったことが当社鉄鋼建設資材事業に影響し、当第1四半期連結累計期間の業績に影響を与えました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は10,767百万円(前年同期比0.4%増)、営業損失は118百万円(前年同期は営業損失315百万円)、経常損失は91百万円(前年同期は経常損失303百万円)、四半期純損失は79百万円(前年同期は四半期純損失360百万円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

鉄鋼建設資材事業

東日本大震災による土木建設需要の回復が遅れたことにより、販売数量は前年同期と比べ減少しましたが、販売価格が前年に比べ高値であったことから増収となりました。一方、販売価格と鉄スクラップ価格の値差が前年同期に比べ拡大し、利益面では改善したものの、昨年度完工した設備の償却額が増えたことなどにより、損失を余儀なくされました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は7,046百万円(前年同期比2.3%増)、セグメント損失は87百万円(前年同期はセグメント損失202百万円)となりました。

農業資材事業

肥料事業では、肥料の出荷量が有機肥料、無機肥料とも堅調な伸びとなり増収となりました。利益面では、当社主力である有機肥料の販売数量増が寄与し増益となりました。

園芸事業では、東日本大震災後の家庭園芸市場が低迷する中、当社有機肥料の販売数量増が寄与し、前年並みの業績を確保いたしました。

種苗事業では、スイートコーン市場の競争激化により、当社の主力品「味来」の受注出荷が前年を下回ったことと、さらにもう一つの主力品の病気に強い大玉トマト「アニモ」の取扱いは順調に拡大し予約量も前年を上回ったものの、出荷時期が第2四半期以降であることにより、減収となり利益改善も進みませんでした。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は3,178百万円(前年同期比3.0%減)、セグメント利益は277百万円(前年同期比20.9%増)となりました。

環境ソリューション事業

従来の民間受注獲得に精力的に取り組んできたことに加え、東日本大震災後の塩害等の土壌調査、海洋環境モニタリング調査等、さらには新たに需要が発生した放射線量測定などの新規事業受注活動に注力した結果、受注案件の増加を達成しましたが、売上計上が第2四半期以降になることから、当第1四半期連結累計期間では、売上高は前年並みを確保し利益も改善しましたが、収益確保には至りませんでした。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は134百万円(前年同期比2.3%増)、セグメント損失は33百万円(前年同期はセグメント損失71百万円)となりました。

碎石砕砂・マテリアルリサイクル事業

碎石砕砂事業では公共工事の減少、マテリアルリサイクル事業では対象地区での産業廃棄物集荷量の減少から、前年同期と比べ売上高は減収となりましたが、利益面では碎石砕砂事業で生産効率が向上したことから増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は414百万円(前年同期比1.4%減)、セグメント利益は17百万円(前年同期比89.4%増)となりました。

その他

報告セグメント以外の事業業績は、売上高は118百万円(前年同期比11.4%減)、セグメント利益は3百万円(前年同期比14.7%減)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、上記各セグメント別売上高の合計からセグメント間の内部売上高123百万円を差し引き、10,767百万円となり、セグメント損益は、上記各セグメント別利益・損失の合計からセグメント間の取引消去額、および管理部門経費など各事業に帰属しない全社費用の合計295百万円を差し引き、セグメント損失118百万円となりました。

また、前連結会計年度の第4四半期連結会計期間に報告セグメントの変更をしております。前年同期との比較

に関する事項につきましては、変更後のセグメントに組替えた金額と比較しております。変更に伴う組替えにつきましては、P8～9「(4)セグメント情報等」をご覧ください。

なお、東日本大震災の復興支援と東北地区での環境ソリューション事業を強化するため、新たに仙台市内にグループ活動拠点を本年7月20日に開設しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は16,841百万円となり、前連結会計年度末に比べ163百万円減少いたしました。主な要因といたしましては、営業活動に伴う現金及び預金の増加539百万円、受取手形及び売掛金の減少904百万円、商品及び製品の増加1,369百万円、未収入金(その他)の減少1,084百万円等であります。

固定資産は、23,497百万円となり、前連結会計年度末に比べ231百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、有形固定資産310百万円の減少と、繰延税金資産(投資その他の資産)の増加105百万円等であります。

この結果、資産合計は40,339百万円(前連結会計年度末比394百万円減)となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、15,683百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、支払手形及び買掛金の増加1,281百万円、未払費用(その他)の増加411百万円と設備関係未払金(その他)1,735百万円の減少等であります。

固定負債は、6,248百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、長期借入金の増加170百万円、長期未払金(その他)の減少67百万円、長期設備関係未払金(その他)32百万円の減少等であります。

この結果、負債合計は21,931百万円(前連結会計年度末比21百万円減)となりました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は18,407百万円となり、前連結会計年度末に比べ372百万円減少いたしました。主な要因といたしましては、利益剰余金359百万円、その他有価証券評価差額金22百万円の減少等であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末46.1%から45.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月10日に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,158,466	2,697,974
受取手形及び売掛金	5,998,600	5,093,700
商品及び製品	5,155,599	6,525,263
原材料及び貯蔵品	1,774,111	1,745,394
その他	1,923,144	783,576
貸倒引当金	5,171	4,284
流動資産合計	17,004,751	16,841,623
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,058,466	4,036,168
機械装置及び運搬具(純額)	13,152,370	12,866,248
土地	2,608,137	2,611,539
その他(純額)	1,164,374	1,158,988
有形固定資産合計	20,983,349	20,672,944
無形固定資産	943,512	895,693
投資その他の資産	1,801,883	1,928,949
固定資産合計	23,728,746	23,497,587
資産合計	40,733,497	40,339,210
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,437,423	7,718,625
短期借入金	3,085,000	2,985,000
1年内返済予定の長期借入金	1,200,000	1,330,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
未払法人税等	33,305	8,968
賞与引当金	277,066	109,880
その他	4,652,434	3,470,637
流動負債合計	15,745,230	15,683,112
固定負債		
社債	240,000	240,000
長期借入金	3,200,000	3,370,000
退職給付引当金	1,100,100	1,095,949
その他	1,668,162	1,542,606
固定負債合計	6,208,262	6,248,556
負債合計	21,953,493	21,931,668

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,190,000	2,190,000
資本剰余金	1,802,000	1,802,000
利益剰余金	14,882,856	14,523,173
自己株式	293,311	293,311
株主資本合計	18,581,545	18,221,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151,053	128,513
為替換算調整勘定	47,404	57,166
その他の包括利益累計額合計	198,458	185,679
純資産合計	18,780,003	18,407,542
負債純資産合計	40,733,497	40,339,210

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	10,725,109	10,767,817
売上原価	9,272,394	9,102,710
売上総利益	1,452,715	1,665,106
販売費及び一般管理費	1,768,539	1,783,148
営業損失()	315,824	118,041
営業外収益		
受取利息	189	136
受取配当金	14,620	11,581
持分法による投資利益	26,325	57,128
その他	23,521	20,086
営業外収益合計	64,657	88,931
営業外費用		
支払利息	20,435	29,481
売上割引	24,707	25,224
その他	6,958	7,611
営業外費用合計	52,102	62,318
経常損失()	303,268	91,428
特別利益		
固定資産売却益	149	-
貸倒引当金戻入額	665	-
特別利益合計	815	-
特別損失		
固定資産処分損	130,666	21,943
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	73,903	-
その他	-	2,072
特別損失合計	204,569	24,015
税金等調整前四半期純損失()	507,022	115,444
法人税、住民税及び事業税	21,654	3,705
法人税等調整額	168,052	39,468
法人税等合計	146,397	35,762
少数株主損益調整前四半期純損失()	360,624	79,682
四半期純損失()	360,624	79,682

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	360,624	79,682
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	120,264	22,540
為替換算調整勘定	6,425	9,761
その他の包括利益合計	113,838	12,778
四半期包括利益	474,463	92,461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	474,463	92,461
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	鉄鋼建設資材 事業	農業資材事業	環境ソリュー ション事業	砕石砕砂事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	6,886,320	3,275,437	119,617	365,053	10,646,429	78,680	-	10,725,109
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	11,436	2,518	13,954	107,992	121,946	-
計	6,886,320	3,275,437	131,053	367,572	10,660,383	186,672	121,946	10,725,109
セグメント利益 又は損失()	202,011	229,826	71,386	9,303	34,268	3,636	285,192	315,824

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、マテリアルリサイクル事業および業務請負事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 285,192千円には、セグメント間取引消去1,477千円および各報告セグメントに配分していない全社費用 286,669千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントなどに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	鉄鋼建設資材 事業	農業資材事業	環境ソリュー ション事業	砕石砕砂・ マテリアルリ サイクル事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	7,046,009	3,178,162	105,435	412,916	10,742,525	25,291	-	10,767,817
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	17	28,663	1,118	29,799	93,534	123,333	-
計	7,046,009	3,178,180	134,099	414,035	10,772,324	118,826	123,333	10,767,817
セグメント利益 又は損失()	87,737	277,930	33,424	17,380	174,148	3,210	295,400	118,041

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントの業務請負事業であります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 295,400千円には、セグメント間取引消去608千円および各報告セグメントに配分していない全社費用 296,008千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントなどに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度の第4四半期連結会計期間において砕石砕砂事業を進める上武産業株式会社とマテリアルリサイクル事業を進める上武エコ・クリーン株式会社の合併(平成23年3月1日付)に伴い報告セグメントの変更を行っております。変更後の報告セグメントに組替えた前第1四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は、つぎのとおりであります。

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	鉄鋼建設資材 事業	農業資材事業	環境ソリュー ション事業	砕石砕砂・ マテリアルリ サイクル事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	6,886,320	3,275,437	119,617	416,859	10,698,234	26,874	-	10,725,109
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	11,436	3,195	14,631	107,315	121,946	-
計	6,886,320	3,275,437	131,053	420,055	10,712,866	134,190	121,946	10,725,109
セグメント利益 又は損失()	202,011	229,826	71,386	9,174	34,396	3,764	285,192	315,824

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントの業務請負事業であります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 285,192千円には、セグメント間取引消去1,477千円および各報告セグメントに配分していない全社費用 286,669千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントなどに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。